

りゅうおう 議会だより

No. 154
2011. 2. 1

RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713 (直通) (有)58-3713



成人おめでとう！

ワクチン接種に助成	2
「TPP交渉への参加に反対する意見書」提出	3
一般質問 10議員が14問	4 ~9
平和堂が開店します	10
シリーズ いきいき人生	12
鏡在住 金山 ひさ さん	

ワクチン接種に助成

一般会計補正

今定例会では、一般会計補正予算として、2億900万円が追加され、歳入歳出予算が51億300万円になりました。主な補正の内容は左の表の通りです。

今回三種類のワクチン接種に助成がされることになりました。

子宮頸がんワクチン

中学校一年生から高校一年生の女性を対象で、3回接種します。1回の接種費用は1万5千円程度です。

ヒブワクチン

生後2ヶ月から5歳未満が対象で初回は3回接種、その後一年経過後に4回目の接種を受けます。1回の接種費用は8千円程度です。

小児用肺炎球菌ワクチン

生後2ヶ月から5歳未満が対象。初回は3回接種。その後60日経過後に4回目の接種を受けます。1回の接種費用は1万円程度です。

この三種類のワクチンは任意接種ですが、町と契約している医療機関で接種すると接種費用の自己負担は一割となります。詳しくは町の広報やホームページで確認してください。

平成22年度 一般会計補正予算の概要

歳入補正予算の主なものは

(単位：千円)

地方交付税（普通交付税）	62,703
子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金	4,020
図書館管理運営費補助金	1,545
障害者自立支援給付費負担金（国・県）	11,550
河川愛護活動事業委託金	1,500
臨時財政対策債	66,265
前年度繰越金	46,020

歳出補正予算の主なものは

(単位：千円)

障害者福祉関係負担金等過年度還付金	2,928
（自立支援給付費）（自立支援医療費）（地域生活支援事業費）	
高齢者保健福祉計画策定業務委託料	2,000
河川愛護作業補助金	1,500
防火水槽維持管理事業	882
緊急雇用創出特別対策事業	1,545
予防接種事業	12,018
自立支援給付事業	15,400
介護保険特別会計繰出金	6,831
償還元金	137,020

学校図書館の運営補助

緊急雇用創出特別対策事業として、学校図書館を子どもたちが利用しやすくなるよう、専門職員を配置することになりました。

竜王町ではすでに学校図書ボランティアもおられますが連携して図書活動の充実に取り組むことになります。

職員の給与が下がりました

人事院は公務と民間の給与較差を解消するため、30歳以上の職員について、0.1%の俸給引き下げを勧告しました。

竜王町ではこの勧告に基づいて55歳を超える職員については毎月の給与から1.5%を引き下げ、賞与については全職員に対し、0.2ヶ月分を引き下げるなどの給与条例の改正をしました。

竜王町ではすでに、今年

度初めから同等の給与削減をしていますので、追加的に上乗せ削減はせずに、年

度当初の条例の規定を削減し、人事院勧告通りとなりました。

北海道から視察に 北後志町村議会の議長さん

11月10日に北海道北後志（きたしりべし）町村議会に所属する積丹（しゃこたん）町、古平（ふるびら）町、仁木町、赤井川村、余市町の議長と議会職員10名が来町されました。

竜王町議会が実施している議会報告会は全国町村会でも紹介されており、今回の来町は「議会のあり方について広く意見を交換しよう」と来られたものです。

竜王町側からは、町長、正副議長と議



北海道の議員さんとの懇談

公民館の休館日 が変わります

公民館の休館日は、年末年始（12月29日から、翌年1月3日）だけとなります。

使用料金については共有スペースを除き一部有料となりますが、次代を担う子どもたちの育成支援の観点から18歳以下の使用は無料となります。また、「時間帯」から「時間ごと」に使用料が設定されることになりました。

柔道剣道同時に 使えます

武道交流会館は全面を一面として貸し出していました。今回A面、B面と区別して複数団体の利用が可能となるように使用料の規定などを改めました。今までは18歳以下の使用料を



改修がすすむ公民館

2分の1としていましたが、18歳以下は無料にし、障がい者および65歳以上を2分の1の使用料に改正されました。

預かり保育 制度化

2年間試行的に実施してきた預かり保育を新たに制度化されました。

また正規の時間帯である幼稚園保育料とは別に預かり保育料を規定されます。

保育料値上げ など

幼稚園保育料は、平成7年度より今日まで据え置きされてきましたが、地方交付税算定額や近隣市町の幼稚園保育料との開きが大きくなっていることから

保育料を改定されます。

また国では幼保一体化の動向があることから、預かり保育を来年度から本格実施をし、幼稚園教育の充実を図られます。

保育料は今まで月額4,800円の11ヶ月分でしたが、年額60,000円に改め、預かり保育料は月額4,400円、一時預かり保育料は日額500円と規定されます。

また、学校施設使用料を1時間当たりの使用料として見直し、18歳以下は無料に、障がい者および65歳以上を2分の1に改めます。

通学自動車使用料は片道の場合600円となっていました。片道の料金設定を廃止し、一律月額1,200円となります。

妹背の里などの 使用料も改定

雪野山史跡広場「妹背の里」と農村環境改善センターは、町内居住者で18歳以下、65歳以上および障がい者の使用料を2分の1とします。

介護予防拠点施設（ふれあいプラザ）および農村運動広場は、町内居住者で18歳以下の者の使用料は無料とし、65歳以上の者および障がい者の使用料は2分の1となります。

T P P交渉への参加に反対する意見書

12月定例会で採択された請願を受けて、意見書を提出しました。

政府は、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）について、「関係国との協議を開始する」とした。

政府が例外なしに関税を撤廃するTPP交渉に参加すれば、食料の自給率どころか国内農業を崩壊させることは必至であり、農家への戸別所得が補償されても、農産物等の輸入が増大し、国内生産の崩壊、地方の雇用喪失により、地域経済にも壊滅的な打撃を与えるのは明らかである。

これまでのWTO農業交渉の経過を踏まえ、「農業の多面的機能の発揮」を堅持し、他国に農産物の生産を依存しない戦略的な自給率の向上が今こそ求められている。

1. 関税撤廃が原則であるTPP交渉への参加は、国内農業へ甚大な影響を与えること、食料安全保障の観点から国の存続を危うくする可能性が高いことなどから、交渉への参加をしないこと。

2. 今後、国際貿易交渉に当たっては、『多様な農業の共存』を基本理念として、食の安全・安定供給、食料自給率の向上等を損なうことは行わないことを基本とする「食料・農業・農村基本計画」の方針を貫徹すること。

滋賀県蒲生郡 竜王町議会

内閣総理大臣

衆議院議長

参議院議長

外務大臣

農林水産大臣

経済産業大臣

内閣官房長官

国家戦略担当大臣

宛

みなさんの声を市政に届けます

一 般 質 問

10人が14問

- ①財政硬直化の打開策は？
- ②自治会をどう見る
- ③西川近辺の交通安全を
- ④水道施設の耐震化などどうする
- ⑤インクルーシブ教育をどう思うか
- ⑥教育でまちづくりを
- ⑦TPPに参加すれば竜王はどうなるのか
- ⑧農業経営所得安定対策は
- ⑨空き家の活用を
- ⑩幼小中の教室にエアコンの設置を

蔵口嘉寿男議員
貴多 正幸議員
大橋 弘議員
菱田 三男議員
山添 勝之議員
山田 義明議員
若井 敏子議員
小森 重剛議員
図司 重夫議員
岡山 富男議員

問 町は財政健全化プランを進めるために、人件費・町民対象の各種補助金のカット、各種委員手当の削減、施設整備事業の繰延べなどを実施されているが、現時点での税収予測をどのように捉えているのかを伺う。

また財政規模に占める実質公債費比率が20%を超えて財政の硬直化が一段と厳しくなっており、実質公債費比率を18%以内に抑える手立てを講じないと、将来に禍根を残すことになりかねないと考えます。

財政硬直化を打開するための方策と見通しについて伺う。



蔵口嘉寿男議員

答 今年度の税収見込みは、総額で28億526万円の当初予算額に対して、33億円の決算見込み額となり、差し引き4億9474万円の予算超過になると見込んでいます。

実質公債費比率が18%を超えたことにより、公債費負担適正化計画を策定していますが、公債費の圧縮が最も効果的で、具体的には繰上償還の実施と町債発行額の抑制を考えています。

財政硬直化を回避するために、身の丈に合った予算規模と、住民と行政の役割分担を進め、公債費の減少

財政硬直化の
打開策は？
財源確保に努め、繰上償還を実施します

に努めます。

現時点での試算では、平成26年度には実質公債費比率18パーセントをきる見込みです。



財政健全化に向けた説明会

一般質問



貴多正幸議員

問

町として自治会の必要性ならびに重要性について、どのように考えておられるのか伺う。

また、区民すべての方の状況が把握できていない状態で防災訓練等を行っても、安否確認などではない状況である。区長は、竜王町事務嘱託員という一面もあることから、必要最低限の情報は流してもらえないのか伺う。

答

自治会は、毎日の生活において、住民の皆様方が安心して暮らしていただくために必要不可欠な組織であると認識を致しており、防災や防犯等の「地域自主防災」の取り組みが重要なものであると言えます。

自治会をどう見る

魅力あるまちづくりの拠点です

町と致しましては「自治会の必要性と重要性」を認識しており、竜王町らしい自治会の形成と継続的な自治会・集落づくりを図るために、自治会運営にご苦労をいただいているみなさんをはじめとして、広く住民みなさんとも相談しながら、魅力ある地域や若者定住の取り組みにつながるまちづくりを展開してまいりたいと考えています。

認められる場合は、「氏名・生年月日・性別・住所」の4情報について閲覧できるように致します。これらの閲覧方法の詳細につきましては、新年度の初区長会において周知を図ってまいります。



自治会健康診断の様子

問

アウトレットオープン時と10月10日は町内各地で大渋滞が発生したが春休みや5月のゴールデンウィークなどは農繁期と重なるためいっそう心配している。

町道巡検線・西川ため池線は歩道がないため、やむなく路肩に農耕車を止めている。農作業を安全に行うためにも三井側の、安全対策を伺いたい。

答

アウトレットオープン時には、竜王インター周辺において交通混雑が発生しましたが、最近では土日においても混雑もなく落ち着いた状況です。

三井は新たにアウトレット周辺に550台規模の駐車場を、また道の駅周辺等



大橋弘議員

西川近辺の交通安全を

新たな駐車場確保しました

を合わせ1220台の臨時駐車場を確保されました。現在、駐車場配置と交通誘導方法について、効率的な運用計画を県警や近江八幡署などと協議されています。

繁期における地域住民や農耕車輛等の交通安全対策については、正月期の交通対策効果を踏まえた中で、交通量や誘導方法など現地の状況を見極め、交通関係機関と適時協議し交通事故防止対策を進めてまいります。



西川付近の渋滞状況



菱田三男議員

問

一昨年12月の定例会において、竜王町のライフラインの危機管理について質問した。

特に水道施設の耐震化および石綿管などの老朽管の更新については、計画的な整備をはかるべきだと訴え、順次整備を進めていくとの回答をいただいた。

その後も総務産業建設常任委員会などにおいて、早期に取り組む必要性を訴えてきた。

この私の一般質問および委員会等における発言に対して、どのような計画や手段を講じて、整備を進めて行くかとしているのか、その後の取り組み経過について伺う。

水道施設の耐震化などどうする

今年度調査完了、23年度から計画策定します

答

配水管路については、農村下水道事業や公共下水道事業に伴い、全地域で布設替えを行い順次更新しているが、配管ルートの関係から一部に石綿管などの老朽管が残存している現状です。

また、上

水道の幹線管路においても、布設工事が開始されて35年経過しており、今後耐震化へと更新が必要となってきたいます。



山中配水池耐震化工事

問

現行の日本の障がい者に対する公教育は「特別支援教育」によることになっている。

しかし現政権は「障がいの有無にかかわらず、すべての子どもは地域の小中学校に就学し通常の学級に在籍することを原則」との方針を打ち出した。

これに対する当局の見解を伺う。

答

現行の特別支援教育は個々の子どもの障がいの種類や程度に応じて、就学先を規定しております。

竜王町では一人ひとりの子どもの持てる力・ニーズに応じ最大限に能力を引き出し伸ばせるよう教育を行っています。



山添勝之議員

インクルーシブ教育をどう思うか

実施はむずかしい

それに対しインクルーシブ教育はすべて普通学級の中で教育をしていくということです。その点が大きく違ってきます。

教育内容や方法の工夫、子どもに対する評価等を見直す必要があります。

もしインクルーシブ教育を実践しようとするならば、

学校全体の大きな改革ということになります。

理念が先行して、現実的にはそれらの体制ができていないので実施が非常に難しいと考えます。

今後、検討部会の内容を注視していきたいと思います。



適応指導教室の料理指導

一般質問



山田義明議員

問

英会話能力の向上を目指した教育特区の取り組みやスピーチ大会の開催をしてはどうか。

また、先の見えない時代に果敢に生き活力の湧く講演会などを成人対象に開催して欲しいと考えるがどうか。

答

英語教育の重要性を認識して、昨年は英語教育の研究指定校として授業研究に取り組みました。

今年度は「外国語活動スプレッド事業」の研究指定を受け研究を重ねました。

英語弁論大会等につきましても、積極的に考えていきたいと思っています。

今年度は民間主催の英語スピーチ大会を後援しました。



竜王小学校の英語教育

教育でまちづくりを

英語教育の充実や生涯教育でまちを活性化させたい

生涯教育の取り組みとして、活力の湧く講演等は非常に重要で、まちづくりやランジ88委員会のみならずと連携してまいります。

全国で取り組まれている少子化対策や地域活性化の取り組みの成功事例について、関係者を招いての報告会や公開講演会を年間にわたり開催するため、まちづくり交付金ソフト事業の活用なども含め、その実現に向け、取り組んでおります。

問

TPPについての町長の見解を求める。

TPPに参加すれば安い輸入米に勝てず、米が作れなくなるだけでなく全品目が輸入品との競争や外国からの労働力流入で雇用も地域経済も大きな打撃を受けると言われている。

TPPに参加した場合、竜王にはどんな影響があるのか伺う。農業以外の分野への影響についても伺う。

答

全国町村長大会で、TPP問題について「特別決議」を採択しました。

TPPは地域農業に壊滅的被害をもたらすばかりか



若井敏子議員

TPPに参加すれば 竜王はどうなるのか

農畜産物七品目で16億の減収です

農村風景を崩壊させるものです。竜王町は調和の取れた町で、そのバランスが崩れるのはダメ、食糧の確保、経営の成り立つ政策が必要だと考えています。

TPPによる竜王町への影響額は、

農水省の試算に基づいて試算すると農畜産物7品目では16億4千万円の生産額の減少となり、このうち水稻の生産減少額は約9億円です。

県の町



米の検査風景



小森重剛議員

問

今日の農業は、米価の下落で大変厳しい経営状況にあり、個々での農業経営はコストが高くつき、採算が取れないのが現状である。

こうしたなかでは農業後継者が育たず、経営規模の拡大を迫られることは必至である。

そこで、農地の受委託についての現状と、今後の農業についてどのような指導をされるのか、また竜王町農業の将来展望についても伺う。

答

認定農業者と集落営農組織を地域農業の担い手と位置づけ、担い手の確保・育成支援活動を行ってきました。認定農業者は、竜王町農業経営改善計画認定制度にお

農業経営所得安定対策は

実態に即して強化を図ります

いて、現状耕作面積が2ha以上65歳未満であること、または65歳未満で定められた一定条件に対する計画書の作成等により、審査委員会の審査を経て町が認定します。

また、集落の農地は集落で守る農業と効率的で安定的な農業を推進するため、特定農業団体を19組織設立

され、現在2組織が法人化されています。農業生産の効率化と経営の安定化を図り、集落の実態に即した農地の受け皿を整備することが、地域農業の強化につながると考え、関係機関と協力し地域農業をこれまで以上に進めていきます。



収穫風景

問

町内各集落において徐々に増加している空き家の実態を把握して、将来的に空き家を活用すべきと考え、空き家対策をどのように進めるのか伺う。

答

昨年6月に実施しました空き

家状況の聞き取り調査では、町内に30戸を超える空き家と思われる家屋があります。

また昨年実施しました「自治会の健康診断」のヒアリングにおいても、集落によつてはすでに数戸の空き家があることや将来空き家となることが想定できる家屋もあり、防犯・防災面で大きな課題として捉えられています。

定住人口を増加させるには、空き家は地域内の大変有効な未活用資源として考



司重夫議員

空き家の活用を

実態把握に取組みます

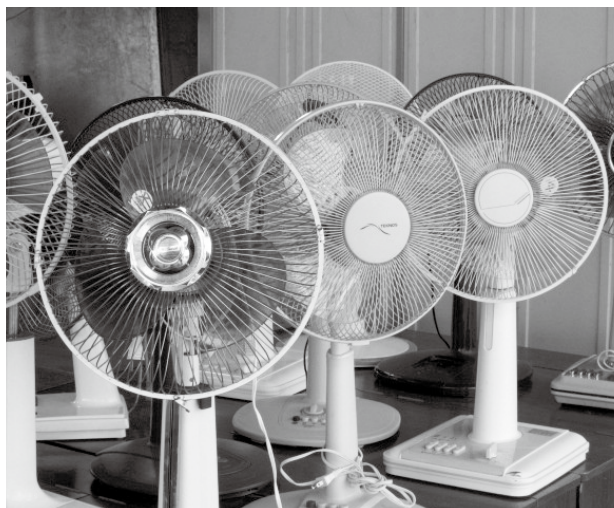
えております。

空き家の活用にあたっては、貸主と借主をつなぐシステムだけでなく、家屋の所有者や地域全体での理解、受入れ態勢も必要です。島根県江津市など他の市

町を参考にしながら、定住へのきっかけとして農業体験、民泊等また住民活動の拠点としての空き家活用も含め幅広い視点で検討する必要があります。まず、現状・実態の把握に取り組みます。



町内の空き家



夏の暑い日 教室で使われていた扇風機



岡山富男議員

問

小中学校は、8月下旬から授業が始まったが、今年は大変な猛暑で、熱中症になった子どももいたと聞いている。
エアコン設置は必要と思うが、町の計画を伺う。

答

異常な猛暑の影響もあり、エアコン設置の流れは加速するのではないかと予測しています。
本年度から平成25年まで、竜王小学校の大規模改修計画・工事にとりかかりますが、これに併せて普通教室等へのエアコン設置について協議検討してまいります。
子どもたちが快適に学校生活を送れるよう教育環境の充実に努力していきます。

幼小中の教室に エアコンの設置を 協議検討します

こんな質問もしました

山田義明議員

問

農業の6次産業化を推し進めるために、竜王町独自のモデルを創り、人材確保や環境整備が出来ないか。

答

近隣の甲賀市では農家からもち米を5割高く購入し正月用の餅のほか草もちや米粉の麵を作って販売されています。
竜王町においても水田を活用した取り組みで、生産者育成と生産品目の選定と製品化までできるような専門の技術職員の人材確保について、関係機関への要請等を行ない支援します。

若井敏子議員

問

厚労省は2013年度から70歳から74歳

答

県は適正な規模は1学年6〜8学級とし、今年度に再編する計画でしたが、県民への周知と幅広い検討をするため、

問

県立高校の統合は、来年に先送りされたが、子どもたちには大きな影響が出る。どう考えているのか。県への申し入れを求める。

答

窓口負担が2倍になると通院患者負担の平均負担額は、6940円になります。
減免制度は県下統一的に一斉実施を考えています。

までの医療費の窓口負担を2割に引き上げるが、これによる患者への影響を伺う。国の示す新基準の減免制度を作るべきと考えらるかどうか。

答

個人情報の提供については住民基本台帳や住民票の閲覧・交付に関する「取扱要綱」により対応しています。
民生委員さんの地域での課題や悩みは福祉課に相談いただき、連携・支援してまいります。

問

民生委員の活動を支援するために個人情報提供すべきと考えらるかどうか。

岡司重夫議員

来年度に先送りされました。町としては機会あるごとに、再編で進路選択の幅が狭まるのではないかと申し入れています。



オリンピック選手の指導でさかあがりできました

平和堂が 開店します

平和堂は2月6日に開店します。休日は元旦および年一回程度の臨時休業、営業時間は午前9時30分から午後8時までとなります。

平和堂は「地域に密着し、便利で心地よく、みんなが集まる楽しい店」となるよう地域と一体となった店、地元産品の拡販を行います。

食料品、日用品、高頻度の衣料品の生活必需品が販売されます。

テナントとして出店するのはドラッグストア、100円均一、クリーニング、ベーカリー、アミューズメント、ATM、精肉、生花の店などです。

平和堂では、新規採用予定を100名とし、年末までに90名の採用が確定しています。(約6割は竜王町民です)開店までに約10名の学生アルバイトが採用されることになっています。



2月6日に開店される平和堂

アウトレットの 交通渋滞対策

三井アウトレットが7月にオープンされて以来、竜王町として交通対策に万全の対応をしてきました。

プレオープン当日や10月10日の祝日には思いもよらず渋滞が発生したことを受け、三井側は再発防止策として、臨時駐車場の活用と当面の間CMを自粛するなどの対策を取りました。

臨時駐車場は、今まで従業員用の駐車場としていた沈砂池横の駐車場400台分を転用し、松が丘近辺に変更するとともに、道の駅「かがみの里」横の「ルシアン」の敷地に420台、竜王町所有地の薬師地先の町水道配水池付近で150台、同じく町有地の須恵地先で250台を確保しました。

また、可能な範囲でドラゴンハットの駐車場を借りるように対処されました。

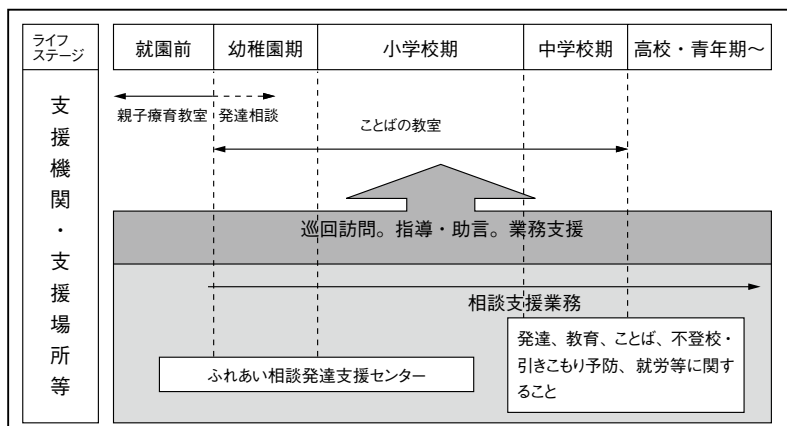
ふれあい相談発達支援 センターの新たな展開

平成20年度に町健康推進課に発達支援室を設け、関係機関への業務支援や町内外の関係機関との連絡調整を中心に業務を行い、早期発見、早期支援システムの充実に努めていました。

今回、早期発見、早期支援の取り組みを堅持しつつ、現在、教育委員会学務課で実施している相談支援事業と一体化することにより、さまざまな課題をもっている児童等の相談や青年期以降の支援の充実を図るため、竜王町ふれあい相談発達支援センターを設置し、平成23年度からスタートすることになりました。

場所は、竜王町公民館の3階で公民館の改修で機能を充実して開設されます。

事業展開は表のとおりです。



組織機構の変更

現在、発達支援室は健康推進課の一つの係ですが、今後は継続した支援が必要であり、福祉との連携をより一層強めるために、ふれあい相談発達支援センターは、福祉課の出先機関として位置づけられることとなります。

地域子育て支援事業が変わります

竜王町では、子育てを支援する事業として、「センター型」「ひろば型」事業を実施してきました。

子育て家庭が気軽に集まって、親子の交流ができた、さまざまな支援サービスを受けられる場を提供してきました。

しかし、近年、複雑・深刻化する子育て環境に対して、保護者への支援など柔軟に対応できる専門職員（保育士等）の配置（2人）や、町内全般にわたり子育て支援に関するコーディネートアクションをする必要もあることから、「センター型」を直営化し、機能充実を図ることになりました。

- ①子どもの育ちの支援
- ②保護者の養育力向上
- ③地域の子育て力向上
- ④関係機関の連携により支援の強化

平成23年度から次のように実施されます。

〈センター型〉

運営：直営 健康推進課子育て支援係
場所：町保健センター2階を拠点
事業名：（仮称）こどもひろば事業

〈ひろば型〉

運営：竜王町社会福祉協議会に業務委託
場所：町内施設（検討中）を拠点
事業名：地域子育て支援拠点事業（ひろば型）

「若者定住」の取り組み

若者定住のための住宅地の開発、整備について、竜王町は市街化調整区域がほ

とんどであり、宅地を造成する土地が少ないので、宅地化の手法の一つとして地区計画制度を活用し対処する予定との説明がありました。

この制度には6種類のタイプがありますが、既存集合型のイメージを田中地区を例に説明を受けるとともに、実際にこの制度を活用した事例として福井県永平寺町の説明を受けました。

当該地は、平成15年に地区計画の決定がなされ平成19年に販売されましたが現在完売されています。地価が安く、小学校や中学校も近くにあることから多くは若い人が購入されています。開発の費用は業者が負担し、取りまとめは地元がされました。

委員会として、この事例も参考に当町でも地区計画が活用されるよう求めました。

また、定住意向の聞き取りでは、10月17日にダイハツ工業(株)の滋賀工場びわこ寮において自治会役員との

意見交換をしました。

その結果、退寮後の住居は東近江市や湖南市が多く、住みたい町の基準として通勤が30分以内でできるところ、病院や日用品の買い物ができること等でした。

アパートの家賃は4〜5万円以内、買い物をする所やアミューズメント施設やジムなどがあり、路線バスが充実していれば竜王でも居住したいという希望も報告されました。

雪国まいたけはどうなっているの

山面の「雪国まいたけ」は「雪国まいたけ滋養パッケージセンター」として、今年1月から本格稼働となります。

業務内容はカット野菜の製造で、名古屋から広島までの中京、北陸、関西、中国の各地で販売されます。

工場は既存の建物1500平方メートルを活用されます。従業員は当初約35名で稼働から半年後に70名に増員されます。

工場で使用される野菜は一日当たり非常に多く、当面は仕入先を雪国まいたけのルートで調達されます。この会社が仕入れる予定の野菜はキャベツ、ニンジン、ニラなどです。

雪国まいたけでは地元での野菜の調達も検討されていて、出荷はコンテナ詰めとなる予定です。竜王町では求められている野菜の調達量は、個々には対応できる量ではないので、県と協議していますが、JAを通じて対応すること等も協議しています。



操業を開始した雪国まいたけ

議会基本条例制定のため 特別委をつくりました

今定例会で、議会基本条例制定特別委員会が設置されました。

この議会基本条例制定に関しては、現第14期議会議員として、地方分権の推進にふさわしい開かれた議会を目指して、議会報告会の開催や議員研修を通じて議会基本条例の理念や必要性等について研鑽、議論する中で制定の方向を模索してきたものです。

町行政の推進にあたって、地方分権の改革に伴い自治体の自己責任と自己決定が強く求められるようになり、二元代表制の一翼を担う議会が意思決定機関、行政の監視機関としての役割と責任は、これまで以上に重要になってきています。

また、開かれた議会を

推進するため、積極的に町民みなさんに情報を発信することによって、町民みなさんとの協働のまちづくりを推進し、議会の意思決定における説明責任を果たしていく必要があります。

議会基本条例は、議会運営の基本と活動指針を明らかにするとともに、町民みなさんから信頼され、存在感のある議会を構築することを目指して、今年6月ごろを目途に条例を制定するため議論を深めていくことになりました。

議会基本条例

議会基本条例とは、地方議会の運営について基本的な原則を定めたもので、町村では北海道の栗山町が最初に制定しました。現在15道府県、47市町で制定されています。

シリーズ いきいき人生

鏡在住
かなやま
金山 ひささん

毎朝3時起きで 頑張っています

今回は鏡にお住まいの金山ひささんを紹介します。

ひささんは毎朝3時前に起きて仕事に出かけられます。

仕事は新聞配達準備作業。店に着くのはいつも一番。みんなが来る前に包装をほどこして下準備をします。3時にみんなが来るといういよ仕分けです。4時にはみんなが配達に出かけます。ひささんはみんなを見送ってその後も片付け作業です。仕事を終えるともう5時です。ご近所への配達もひささんの仕事です。家に帰ると9時ぐらいいまで一寝入りするのだそうです。一寝入りした後は新聞を読んだり畑仕事をしたり、

縁側でひなたぼっこをしたり、自由な日々です。

これからは雪も降ったり

して寒い日もありますが、

休刊日以外一年中ほとんど休むことはないそうです。

ひささんのご主人は元大成中学の英語の先生でした。もしかしてご存じの方もあ

るかも知れませんね。

金山 實先生。
ご主人が亡くなって間もないころ、今の仕事をしてくれないかと誘われたそうです。

以来16年、お店のみなさんと仕事をしていると歳を忘れて若返るのだそうです。ひささんは、昭和3年生



手際よいひささんの仕事ぶり

編集後記

今年の成人式は、1月9日に武道交流会館で開かれました。案内状を送ったのは318人、そのうち参加したのが140人。

参加した人の中には、町内企業に勤めるタイの方がおられました。「日本の文化や習慣を学ぶために参加しました」と、通訳の方といっしょに來られました。

竜王ではアウトレットの開業もあって、来場者（交流人口）はどんどん増えています。チャンスです！これをどう生かすか、知恵と力を合わせる時です。

議会広報特別委員会

委員長 若井 敏子
副委員長 山田 義明
蔵口嘉寿男
村田 通男
菱田 三男
寺島 健一